

目標 使用済みトナーカートリッジ2万本

カンボジアに校舎を

京都市南区のオフィス用品販売会社「カスタネット」（植木力社長）が、オフィスから出る廃材を回収してリサイクル業者に売却、その利益をもとにカンボジアに小学校の新校舎を建設する活動に乗り出した。集めるのは、レーザープリンターの使用済みトナーカートリッジ。同社は「目標は」一万本。処分に困っているオフィスのゴミを学校を作る資金に変えてみませんか」と呼びかけている。

建て替えを計画するカンボジアのトレア小学校（カスタネット提供）

建て替えを計画しているの文具が不足していることは、首都プノンペン以北を聞かされ、顧客らに呼び約百基にある農村のトレアをかけて未使用や使いかけのトナーカートリッジ。同社は「目標は」一万本。処分に困っているオフィスのゴミを学校を作る資金に変えてみませんか」と呼びかけている。

とという。

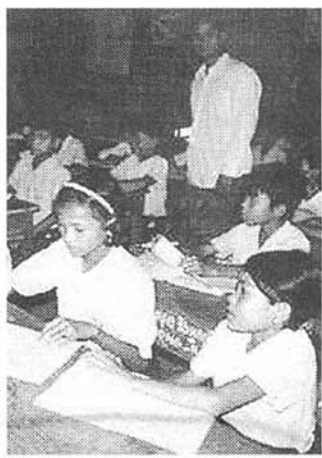
植木社長は昨年春、知人からカンボジアでは子供ら

回、その一つであるトレア際開発救済財団を通じて二小の建て替えを決意した。〇〇五年までに新校舎を建レーザプリンターのトナーカートリッジは現在、植木社長は「トナーはリサイクルして再び商品として処分しているが、リサテ扱うので環境保護や低コスト化にも役立つ。社会社ではトナーをリサイクル貢献が商売にもつながるしている仙台市の会社を探新しいビジネスモデルもし出し、回収したトナーを提案できれば」と話して売って資金を作る方法も思いついた。

総額で約三百五十万円をせは同社（075・662集め、東京の財団法人・国・7200）。

提供の申し出、問い合わせ

業者に売却し資金



老朽化し、薄暗い教室で授業を受ける児童（同）